

横浜能楽堂 改修工事を終え、3年ぶりの開催 「第 40 回横浜かもんやま能」を開催します！

約2年半にわたる改修工事に伴い休館していた横浜能楽堂が、このたび待望の再開館を迎え、「第40回横浜かもんやま能」を開催します。

演目の前には、能楽師による実技と解説付きで上演されるため、能や狂言を初めて鑑賞される方にも気軽にお楽しみいただけます。多くの方のご来場をお待ちしています。



【日 時】令和 8 年 11 月 28 日(土)

14時開演(13時開場)

【会 場】横浜能楽堂(西区紅葉ヶ丘 27-2)

【内 容】(1) 能楽師による実技と解説: 安藤貴康 あんどうたかやす

(2) 狂言「鎧(よろい)」(大蔵流) 茂山七五三 しげやま し め

(3) 能 「養老(ようろう)

水波之伝(すいはのでん)」(観世流) 観世鍔之丞 かんぜてつ の じょう

【主 催】ふるさと西区推進委員会

横浜能楽堂(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

能「養老」九世観世鍔之丞 撮影:前島写真店

【入 場 料】S 席:5,000 円 A 席:4,000 円 B 席:3,500 円

【チケット発売】横浜能楽堂でお申し込みください。(初日は電話、Web のみ)

西区先行販売 8月11日(火・祝)正午～15日(土) 対象・定員 西区内在住・在勤・在学者 先着 200 名

一 般 販 売 8月22日(土)正午～

【申込方法】・ 電話 045-263-3055(9時～18 時)

・ Web(会員登録が必要です)

・ 来館

申込みはこちら >>

(横浜能楽堂 Web ページ)



横浜かもんやま能とは

いいかもんのかみなおすけこう

かもんやまこうえん

横浜開港の立役者となった、時の大老、井伊掃部頭直弼公ゆかりの地「掃部山公園」の一角では、昭和 59 年から第 1 回から第 13 回まで「かもんやま薪能 たきぎのう」を屋外で開催していました。横浜能楽堂が開館した後「横浜かもんやま能」と名称を変更し、多くの方々に親しまれながら開催を重ねてきました。

お問合せ先

ふるさと西区推進委員会事務局長 (地域振興課長)

田中

Tel 045-320-8385



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



第40回

横浜かもんやま能



能楽師による実技と解説 安藤 貴康

狂言

鎧

(大藏流) 茂山七五三

能

養老

水波之伝

(観世流) 観世鍔之丞

令和8年

11月28日(土)

横浜能楽堂

(掃部山公園内)

午後2時開演(午後1時開場)

入場料

S席 5000円
A席 4000円
B席 3500円

チケット発売

令和8年8月22日(土) 正午より

(初日は電話・WEBのみ)

横浜能楽堂

来館 横浜市西区紅葉ヶ丘27-2

電話 045-263-3055(9:00~18:00)

WEB <https://yokohama-nohgakudou.org/>

LINE友だち先行(WEBのみ)

8月18日(火) 正午~20日(木)

チケット購入は
こちらから



問合せ

ふるさと西区推進委員会事務局

(西区役所地域振興課内)

045-320-8391

横浜能楽堂 045-263-3055

主催/ふるさと西区推進委員会

横浜能楽堂(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

後援/横浜能楽連盟

協賛/株 崎陽軒・西区商店街組合連合会

(株)アイネット

協力/西区連合町内会・自治会連絡協議会

助成/文化庁文化芸術振興費補助金

(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

—独立行政法人日本芸術文化振興会

能「養老」 九世観世鍔之丞 撮影・前島書店



文化庁

第40回 横浜かもんやま能

令和8年11月28日(土)
午後1時開場 午後2時開演
横浜能楽堂(掃部山公園内)

能楽師による実技と解説

安藤 貴康

狂言「鎧」(大蔵流)

シテ(主人) 茂山七五三
アド(太郎冠者) 茂山千五郎
アド(すっぱ) 茂山 宗彦
後見 茂山 逸平

能「養老」水波之伝(観世流)

シテ(樵翁・山神) 観世鋏之丞
前ツレ(樵夫) 青木 健一
後ツレ(楊柳観音) 観世 淳夫
ワキ(勅使) 宝生 常三
ワキツレ(従者) 野口 能弘
ワキツレ(従者) 小林 克都
笛 藤田 貴寛
小鼓 住駒 充彦
大鼓 柿原 弘和
太鼓 小寺真佐人
後見 清水 寛二
谷本 健吾
地謡 西村 高夫
柴田 稔
馬野 正基
浅見 慈一
長山 桂三
安藤 貴康
小早川泰輝
小早川康充

狂言「鎧」

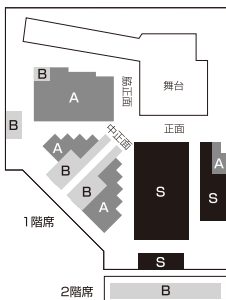
このところ道具比べが流行っているなか、近々「鎧くらべ」があるので、主人は太郎冠者に都に行って鎧を買ってくるように命じます。鎧がどうい
うものか知らない太郎冠者は、都で声をかけられた男から、鎧について書
かれた物売りつけられ、おまけに「おどす物」の入った桶をもらいます。
屋敷に帰った太郎冠者は、さっそく主人に書物を読んで聞かせますが…。
鎧にまつわる言葉を並べて語る「鎧の語り」が見どころです。

能「養老」

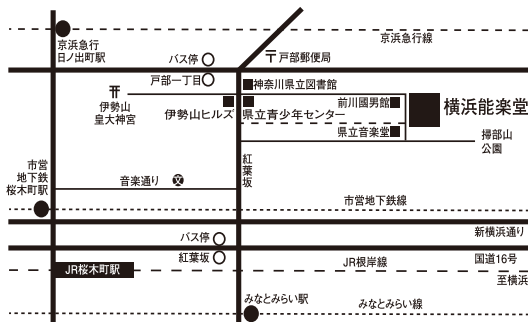
不思議な水の湧き出る泉が美濃郡(現在の岐阜県)にあると聞き、雄略
天皇の勅使が養老の瀧までやってきます。そこで樵の親子に出会い、
不思議な水について尋ねます。すると我等こそがこの養老の瀧を見つ
けた親子であると名乗り、「この水を飲めば元気になり活力が湧いてくる、
不老不死の薬の水である」と告げ、瀧へと案内します。さらに、水のい
われ、奇瑞について述べていると、天より光があふれ、音楽が聞こえ、
花が降り注いできます。
やがて山神と楊柳観音菩薩が現れ、親孝行ゆえに瀧の水が薬の水となり、
養老の瀧となったと舞を舞うと、泰平の御代を讃え帰っていくのでした。

今年で第40回目を迎える「横浜かもんやま能」は、「掃部山公園」の一角に
ある横浜能楽堂内で開催しています。第1回から第13回まで「かもんやま
薪能」として掃部山公園で開催していましたが、横浜能楽堂が開館した後
「横浜かもんやま能」と名称を変更しました。

掃部山公園は、横浜開港の立役者となった、時の大老、井伊掃部頭直弼公
ゆかりの地です。港を一望するように直弼公の銅像が建てられた土地は、
1914年に井伊家より横浜市に寄付されました。現在、この土地は、直弼公の
官職名「掃部頭」にちなんで「掃部山公園」と名付けられ、多くの人に親しま
れています。政治家としても大きな存在でした。35歳
で彦根藩の藩主になるまでの十数年の間、政治の
表舞台には立たず世捨て人のように暮らしてい
ました。「埋木舎」と自ら名づけた簡素な住まいで、
茶道、歌道、鼓を始め、国学、禅などを熱心に学び、
能・狂言においては自ら作品を書くほどでした。
自身の書いた狂言「鬼ヶ宿」はお抱えの狂言師で
あった九世茂山千五郎正虎に初演させています。



座席番号は、舞台に対し左側の脇正面、
中正面、正面までの通し番号です。
(休館前と一部変更がございます。)



交通のご案内
電車 JR根岸線「桜木町」下車北改札・西口徒歩12分、市営地下鉄「桜木町」下車南1 出口徒歩12分
みなとみらい線「みなとみらい」下車徒歩20分、京浜急行線「日ノ出町」下車徒歩15分
(タクシー利用は各駅とも約5分)
バス バス停「戸部一丁目」(市営バス: 103、292系統) 下車徒歩5分
バス停「紅葉坂」(市営バス: 8、26、101、105、106系統、神奈中バス: 横43、
港61系統/京急バス: 110系統) 下車徒歩9分
※お客様用の駐車場、駐輪場はございません。お車・二輪車・自転車等でのご来場はご遠慮下さい。
※内容・出演者に変更がある場合がございます。あらかじめご了承下さい。
※客席への飲食物の持ち込みはご遠慮下さい。
※お買い求めいただいたチケットは公演中止の場合を除き、変更払い戻しはいたしません。
※公演中止の場合に、旅費等の補償はできません。チケット券面額以外は一切ご返金できません。

横浜能楽堂
YOKOHAMA NOH THEATER

【お問合せ】
〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘27-2
TEL: 045-263-3055 (9:00 ~ 18:00)